

サ ッ カ ー

専門委員長 村 山 孝 博



【男子】

今年度の結果を振り返ってみると新人戦は徳島科学技術、総体、選手権は徳島市立が優勝した。

1月に行われた新人戦は第1シードの徳島市立を準決勝で破った徳島科学技術と第2シードの徳島商業の決勝となった。準決勝で徳島市立を破った勢いそのままに優勢に試合を進めた徳島科学技術が6-0で勝利し優勝した。

5月～6月に行われた県総体は徳島市立と徳島北の決勝となった。前半に徳島北が先制するも、後半に徳島市立が怒濤の攻撃で6点を奪い6-1で逆転勝利し優勝した。6月に行われた四国総体では徳島市立が優勝、徳島北が3位と県勢が健闘した。県総体に続き四国総体も制した徳島市立は7月に北海道旭川市で行われた全国総体に出場し1回戦で大分代表の中津東と対戦した。試合開始早々に先制点を許すが、落ち着いた試合運びで前半に3-1と逆転に成功しそのまま逃げ切った。2回戦では、昨年の全国選手権で敗れた尚志(福島)とのリベンジマッチとなった。前半を2-2で折り返したが、後半に退場者を出し数的不利となり2-6で敗退となりリベンジはならなかった。

10月～11月にかけて行われた高校サッカー選手権予選は、準決勝とともに終了間際の得点で逆転勝利を収めた第1シードの徳島市立と、第5シードの徳島科学技術が勝ち上がり、2年連続の全国大会出場を目指す徳島市立と初の全国選手権出場を目指す徳島科学技術の対戦となった。前半立ち上がりから攻勢をかける徳島市立は前半10分と15分に立て続けに得点し試合を優位に進める。後半立ち上がり1分にも得点し3-0とリードをひろげた徳島市立が6-0で勝利し優勝、新人戦準決勝で敗れた徳島科学技術に雪辱を果たした。

2年連続の全国大会出場となった徳島市立は12月29日に行われた1回戦、全国総体で優勝した茨城県代表の明秀日立

と対戦、前半は優勢に試合を運び、決定機を何度もつくるが決めることができずに0-0で折り返す。後半に入り明秀日立のペースとなり16分、明秀日立のシュートがクロスバーに当たって跳ね返ったところを詰められ先制される。さらに後半26分には直接FKを決められ0-2とリードを許す苦しい展開となった。徳島市立は選手交替により流れを変えようと試みるがうまくいかず敗戦となった。

さて、新型コロナウイルスも2類から5類へと変更になり、日常が戻りつつあります。11月に行われた全国高校サッカー徳島大会においても観戦や応援の制限が3年ぶりに無くなり、保護者や学校関係者、また高校サッカーファンの多くの方々が会場に足を運んでくださいました。やはり、多くの観戦者の前で試合ができることは生徒たちにとって幸せなことであると改めて感じることができました。生徒のみなさんも当たり前前にサッカーができる環境に感謝の気持ちを持って部活動に取り組んでもらいたいです。

【女子】 執筆(徳島市立高・松本)

令和5年度は、感染対策を気にしない活動が行えるようになり、大会でも観戦や声出し応援など、以前の雰囲気に戻ってきた。

6月の県総体では鳴門渦潮が他を圧倒し優勝した。その勢いで四国総体も制し、北海道帯広市での全国総体に出場した。初戦敗退であったが、随所に良さが見られ、今後の飛躍が大いに期待される内容であった。9月の県選手権では鳴門渦潮が安定した強さを見せ優勝し、12連覇とした。続く四国選手権でも5-0と高知に完勝し、9回目の四国制覇を果たした。12年連続12回目の出場となる第32回全日本高校選手権では四国第1代表として出場する。全国総体での経験を活かし、さらなる躍進に期待したい。

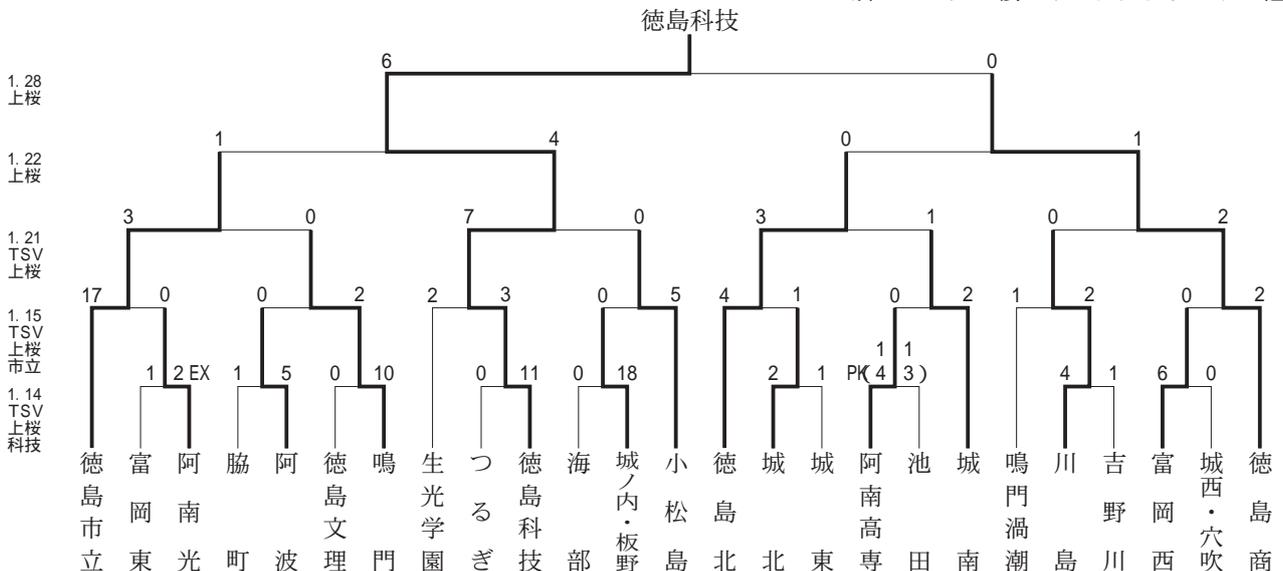
本県では、女子サッカーの普及や強化を各年代と連携し進めている。しかし、高校女子では、人数不足が深刻な問題となっている。チームの存続が危うい高校も増加しており、日々の練習や公式戦などに苦勞している。難しい課題ではあるが、打開策を模索していきたい。このような状況ではあるが、本県の女子高校サッカーも盛り上げていけるよう、協力して取り組んでいきたい。

【男子】

◎令和4年度 第78回徳島県高校サッカー新人大会

令 5. 1. 14・15・21・22・28

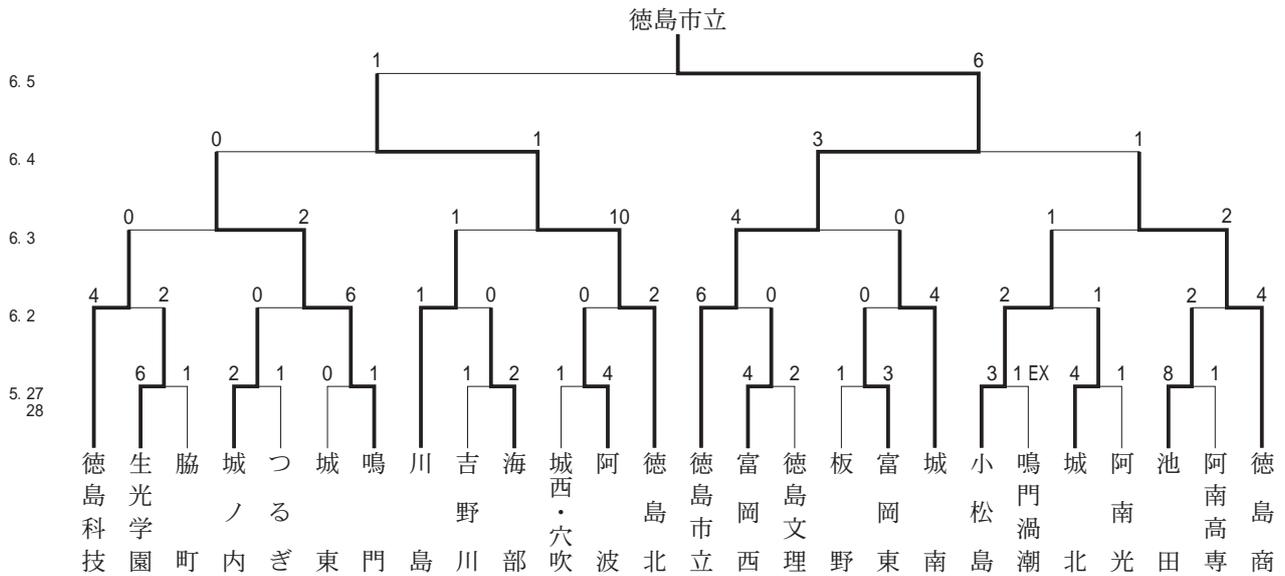
於 ヨコタ上桜スポーツグラウンド 他



◎令和5年度 徳島県高校総合体育大会サッカー競技（男子）

令5. 5. 27・28、6. 2～5

於 ワークスタッフ陸上競技場

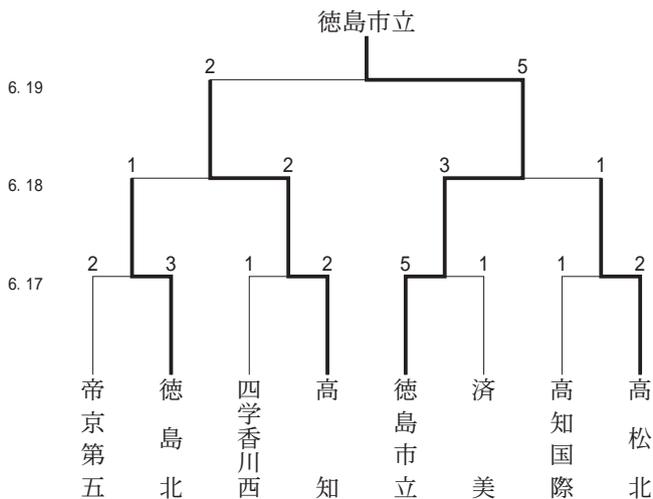


◎第72回四国高等学校サッカー選手権大会（男子）

令5. 6. 17～19

於 愛媛県総合運動公園

A：球技場 B：補助球技場



◎令和5年度 全国高等学校総合体育大会（男子）

1回戦

令5. 7. 29 於 旭川実業高校グラウンド

徳島市立 $3 \begin{pmatrix} 3 & -1 \\ 0 & -0 \end{pmatrix} 1$ 中津東 (大分)

2回戦

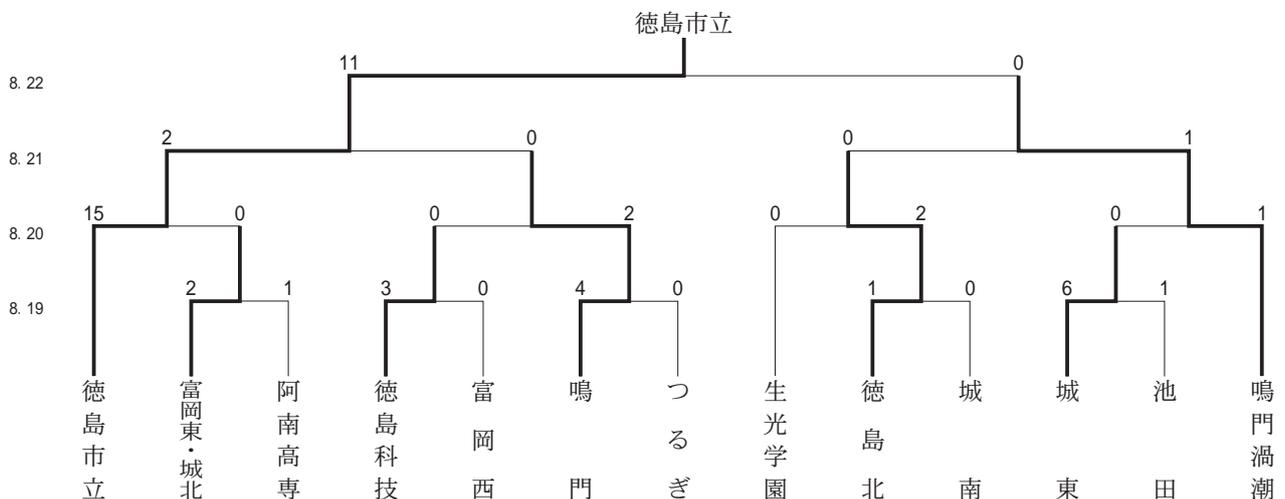
令5. 7. 30 於 忠和公園多目的広場A

徳島市立 $2 \begin{pmatrix} 2 & -2 \\ 0 & -4 \end{pmatrix} 6$ 尚志 (福島)

◎第34回一年生大会

令5. 8. 19～22

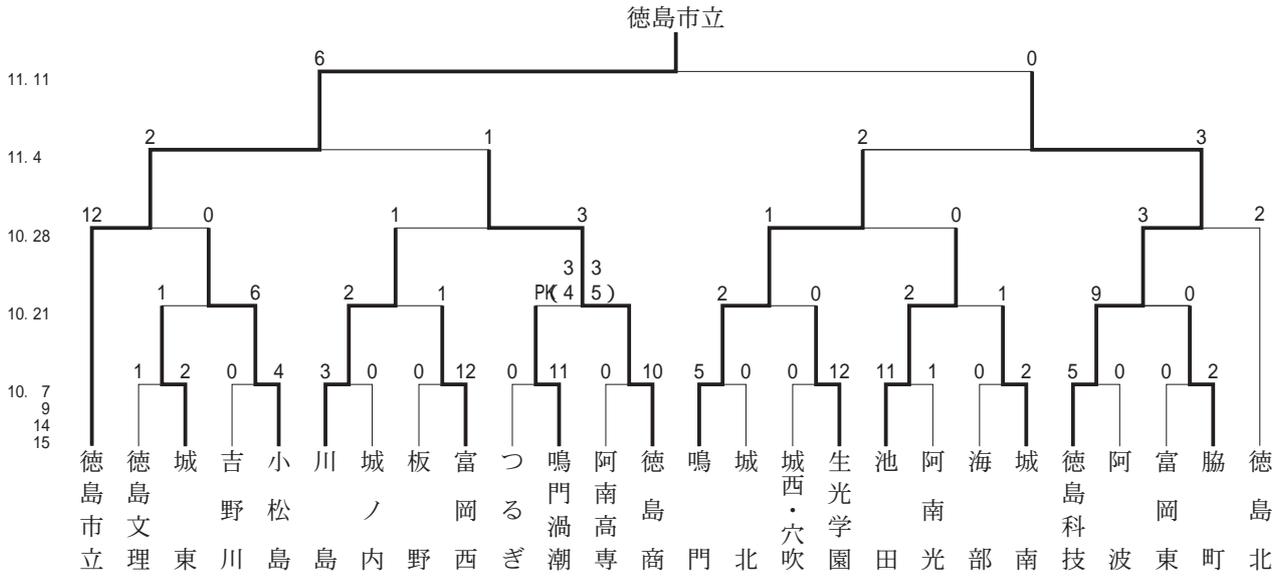
於 ヨコタ上桜スポーツランド 他



◎令和5年度 徳島県高校サッカー選手権大会 兼 令和5年度 第102回全国高校サッカー選手権大会

徳島県予選会 令5.10.7・9・14・15・21・28、11.4・11

於 徳島市球技場



◎第102回全国高校サッカー選手権大会

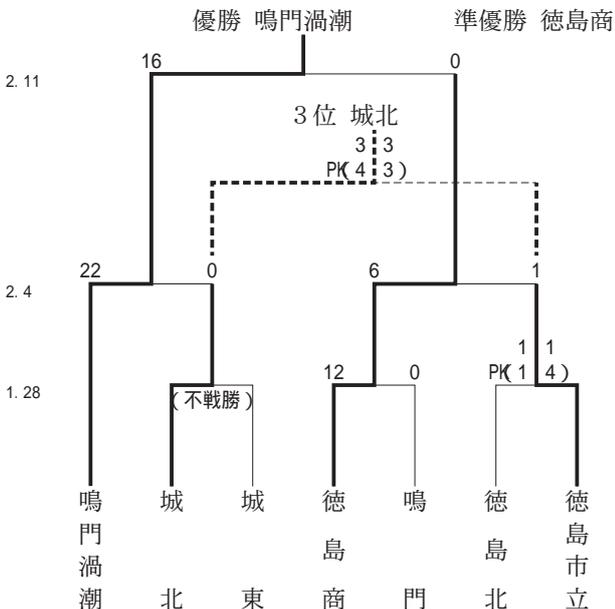
1回戦 令5.1.29 於 等々力陸上競技場

徳島市立 0 (0-0) 2 明秀日立 (茨城)

【女子】

◎令和4年度 徳島県高等学校サッカー新人大会

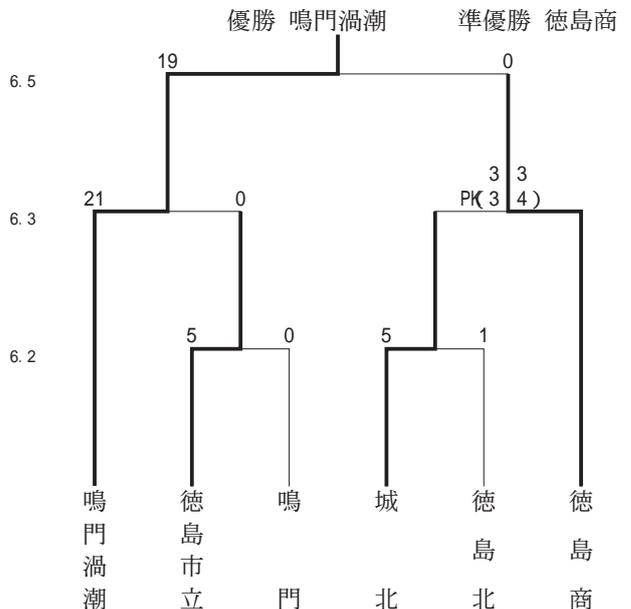
令5.1.28、2.4・11 於 鳴門渦潮高校



◎令和5年度 徳島県高等学校総合体育大会

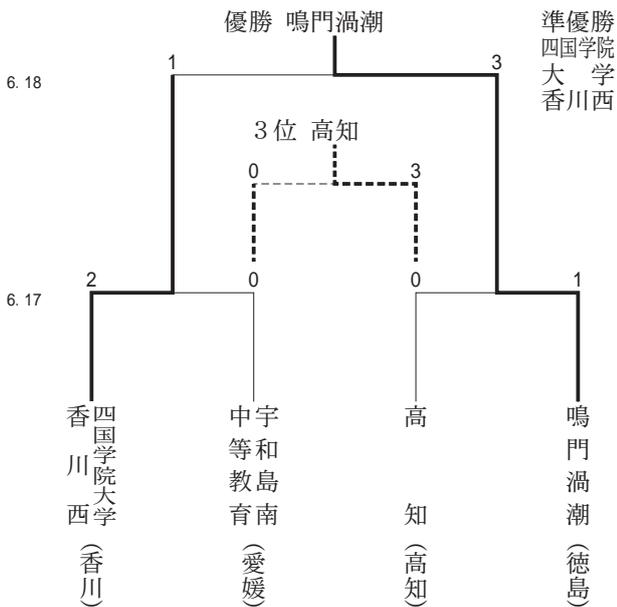
令5.6.2・3・5

於 徳島市立高校、徳島市球技場(入田) ワークスタッフ陸上競技場(田宮)



◎第 11 回四国高等学校サッカー選手権大会 (女子)

令 5. 6. 17・18 於 北条スポーツセンター球技場



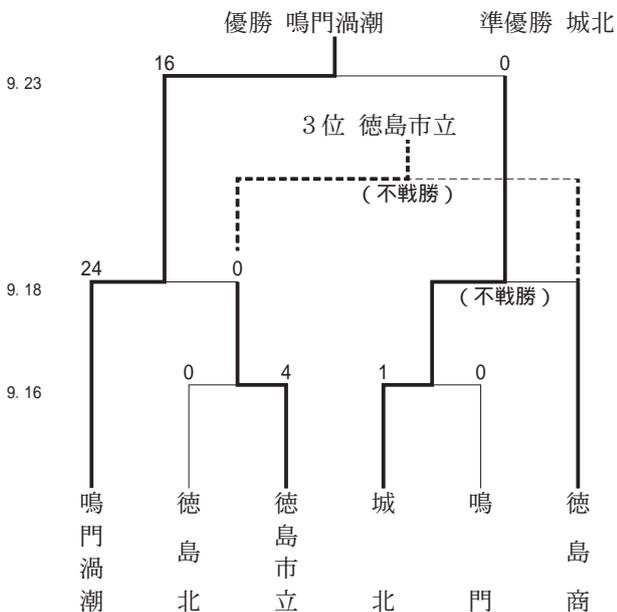
◎令和 5 年度 全国高等学校総合体育大会 (女子)

1 回戦 令 5. 7. 26 於 音更町サッカー場

鳴門渦潮 1 $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -3 \end{pmatrix}$ 4 聖カピタニオ女子 (愛知)

◎第 32 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

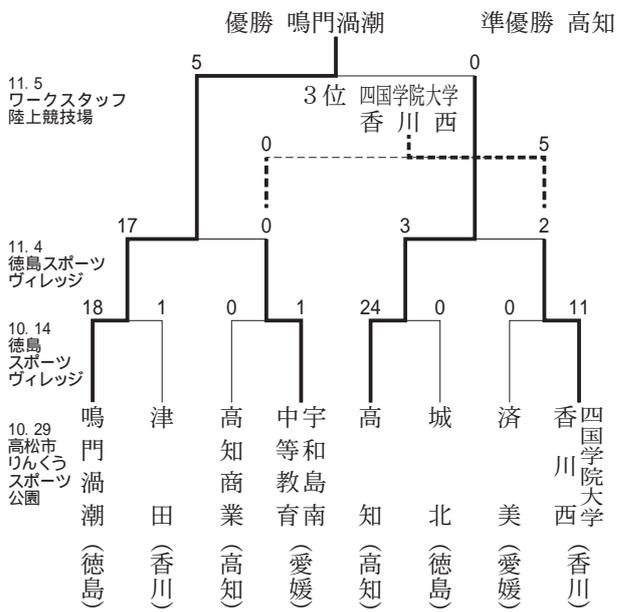
徳島県大会 令 5. 9. 16・18・23 於 鳴門渦潮高校



◎第 32 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

四国大会 令 5. 10. 14、11. 4・5

於 徳島スポーツヴィレッジ、ワークスタッフ陸上競技場
※ 10.29 高松市りんくうスポーツ公園



◎第 32 回全日本高等学校女子サッカー選手権大会

1 回戦 令 5. 12. 30 於 五色台運動公園メイングラウンド

鳴門渦潮 9 $\begin{pmatrix} 3 & -0 \\ 6 & -0 \end{pmatrix}$ 0 旭川実業 (北海道)

2 回戦 令 5. 12. 31 於 みきぼうパークひょうご第 2 球技場

鳴門渦潮 1 $\begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 2 暁星国際 (千葉)